

# 【新規設定コース】 技能・技術実践研修カリキュラム

※記載内容は変更となる場合があります

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
B3-2	技能五輪国際大会の好成績に向けた戦略設計から事前準備・本番運用まで	応相談	10 (1職種限定)	2
開催会場	五輪施設又はオンライン（各施設）	技能・技術分野	共通	
		技能・技術レベル	—	
		技能・技術要素	—	
研修のねらい及び到達目標	本研修は、第48回技能五輪国際大会においてメダル獲得を実現するために、指導者が勝利条件を構造的に定義し、戦略・訓練・本番運用を一体として設計・実装できる能力の習得を目的とする。得点構造や上位国との比較に基づき、再現性と勝率を高める訓練体系を構築し、選手が本番環境において安定して成果を発揮できる状態を実現する指導力を養成する。			
最低限必要な知識	技能五輪国際大会に関する基礎的知識を有すること。			
研 修 内 容	項 目（予 定）		講義	実技・演習
	1. 勝利条件の定義 (1) 得点構造の理解：総得点 vs WSOS・Module・Assessment単位構造 (2) 勝利ラインの設定：メダル水準の定義 (3) 負けパターンの定義：失点の典型構造と再発リスクの特定 (4) 勝率設計：再現性とばらつきを踏まえた勝利確率の設計		1 H	
	2. 勝つための戦略設計 (1) 戦略の基本構造：何をやるか／やらないかの明確化 (2) Module別戦略：得点効率、リスク管理、時間配分の最適化 (3) 上位国の戦略分析：特徴・得点構造・優位性の抽出 (4) 意思決定と事前準備：判断基準、工具・環境・作業標準の最適化		2 H	
	3. 勝利に直結する訓練設計 (1) 訓練の種類：課題完成・新規課題攻略・トラブル対応 (2) 再現性訓練：同一品質の反復と誤差の最小化 (3) 高負荷訓練：時間・制約条件下での安定性確保 (4) 統合訓練：意思決定を含む本番想定連続実行		2 H	
	4. 第48回大会対応！本番対応力の指導 (1) 本番環境の再現：時間・心理・制約条件の再現 (2) 判断力の強化：想定外対応と意思決定速度の向上 (3) 戦略修正能力：状況変化に応じた戦略変更 (4) トラブル対応：障害発生時の優先順位と復旧戦略		2 H	
	5. 評価と勝率管理 (1) 評価の目的：上達ではなく勝率向上（確率管理） (2) 評価指標：得点、再現性、ミス発生率、時間偏差 (3) フィードバック設計：即時修正と短周期改善 (4) 評価の客観化：CIS対応とデータに基づく分析		2 H	
	6. 大会当日の戦略 (1) Familiarizationの対応：確認項目（設備・条件・制約）の体系化 (2) C1～C4の戦略：各フェーズにおける指導員の役割と介入範囲 (3) 意思決定プロトコル：判断基準・優先順位の明確化 (4) 最終対応：リスク管理・最終確認・提出判断		3 H	
			12 H	0 H
リニューアルの概要及びアピールポイント	本カリキュラムは、従来の成績分析中心の研修から、勝利条件を起点とした戦略設計・訓練実装・大会当日運用までを統合した指導体系へ再設計した点に特徴がある。特に、Familiarization対応やC1～C4の運用など本番戦略を明示化し、再現性と勝率の観点から競技力を管理する仕組みを導入した。			
研修成果が活用できる職務	職務 1	職務 2	職務の内容	
担当教員（ユニット）	菊池 拓男 (情報通信ユニット)			
使用する機器等				
受講者が用意するテキスト（予定）				